

演奏者プロフィール

出演日:9/25~9/28

円光寺 雅彦(指揮) Masahiko Enkoji, Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。
指揮を斎藤秀雄氏、ピアノを井口愛子氏に師事。
1980年ウィーン国立音楽大学に留学しオトマール・スウィトナー氏に師事。
これまでに東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌交響楽団正指揮者、名古屋フィル正指揮者などを務め、数



Photo:K.Miura

多くの公演を共にしながらオーケストラの飛躍的な発展に貢献してきた。ほとんどの国内オーケストラ、海外ではブラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、フランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、深い音楽性と適確な指揮で多くの聴衆を魅了。
近年では玉置浩二、石丸幹二、中村雅俊など各界を代表する歌手たちとのコラボレーションも積極的に行い、「NHK名曲アルバム」「おーいニッポン」「あなたが主演～音楽のある街で」「あなたの街で夢コンサート」「コズミック フロント☆NEXT」等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。

出演日:11/28~11/30

横山 奏(指揮) Kanade Yokoyama, Conductor

1984年札幌市生まれ。北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コースを卒業後、桐朋学園にて学び、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。指揮をダグラス・ボストック、尾高忠明、高関健、中村隆夫、黒岩英臣の各氏に師事。



Photo:T.Taira

打楽器を真貝裕司氏に、声楽を桑野敏明、雨貝尚子の各氏に師事。2017年WMC Kerkrade指揮者コンクール第3位。2018年第18回東京国際音楽コンクール第2位 & 聴衆賞を受賞。これまでに札幌、仙台フィル、山形響、東京都響、読売日本響、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京シティフィル、名古屋フィル、京都市響、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、大阪響、広島響、九州響などと共演を重ねている。2015-2017年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員。
2019年北海道二期会創立55周年記念「レオンカヴァッロ：道化師」を、2021年田尾下哲演出「バーンスタイン：キャンディード」を指揮し大成功に導いている。



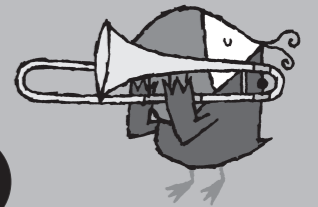
Photo:Y.Fuji

札幌交響楽団 Sapporo Symphony Orchestra

1961年発足、北海道唯一のプロ・オーケストラとして、「札幌」の愛称で親しまれ、2021年に創立60周年を迎えた。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は、国内はもとより海外でも評価が高い。最高の音響を誇る札幌コンサートホールKitaraに加え、札幌の新たな芸術拠点となった札幌文化芸術劇場hitaruを会場とする定期演奏会のほか、北海道内各地や東京での定期公演、青少年向け演奏会など、例年の年間公演回数は約120回。さらにアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。



令和5年度
学校巡回公演事業



オーケストラ公演

札幌交響楽団演奏会



Photo:Y.Fuji

「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の想像に資することを目的としています。ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 独立行政法人 日本芸術文化振興会

今日の曲目

デュカス(1865~1935)

「ラ・ペリ」のファンファーレ

古代ペルシャの神話を題材にしたバレエ「ラ・ペリ」前奏の金管合奏のためのファンファーレです。壮麗でどんな式典にも合うため、スポーツ関係など様々なイベントで演奏される機会が多い名曲です。

ビゼー(1838~1875)

歌劇「カルメン」より“闘牛士”

歌劇(オペラ)は、歌とオーケストラによって演じられるドラマで、「カルメン」はその中でもとても人気のある作品のひとつです。“闘牛士”は、冒頭で演奏される“第一幕への前奏曲”の前半部分で、どんなオペラが始まるのかワクワクするような曲になっています。

モーツァルト(1756~1791)

セレナード第13番 ト長調 K.525

「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章

モーツァルトは、その短い生涯に約700もの作品を残しています。数多くの名曲の中でも最も有名な曲の一つが、この弦楽合奏曲です。モーツァルトの天真爛漫な性格そのままに、明るく楽しく、しかも気品に満ちた曲想で親しまれている名曲です。

チャイコフスキー(1840~1893)

バレエ「くるみ割り人形」より“花のワルツ”

ロシアを代表する作曲家チャイコフスキーは、叙情的で

流麗なメロディーと、豪華なオーケストレーションで人気があります。「くるみ割り人形」はクリスマスの夜、主人公クララの夢の中のお話です。王子様に変身したくるみ割り人形に誘われたクララは、各国の民族舞踊が踊られるおとぎの国の祝宴で楽しいひとときを過ごします。“花のワルツ”は全曲中もっとも華やかで有名な曲といえるでしょう。

ブラームス(1833~1897)

ハンガリー舞曲 第5番

ブラームスは、バッハ、ベートーヴェンと並ぶドイツの大作曲家です。三人の姓がともにBで始まることから、この三人は「三大B」とも言われます。

ハンガリー舞曲は、ジプシーの踊りの音楽をもとにブラームスが作曲したものです。第5番がとりわけ有名で、テレビのコマーシャルなどでもよく使われますので、聴き覚えがあることでしょう。

エルガー(1857~1934)

行進曲「威風堂々」第1番

エルガーは、イギリスで教会オルガニストの子として生まれ、父親から音楽の手ほどきを受けましたが、ほとんど独学でピアノ・弦楽器・作曲を習得し、指揮者・ピアニストとして活躍しました。「威風堂々」のメロディーは、おそらく誰もが耳にしたことがあるでしょう。とても荘重で気品にあふれており、特に中間部の旋律は、後に国王の戴冠を祝う合唱曲にも用いられ、イギリス第2の国歌と呼ばれるほど親しまれることになりました。

オーケストラ楽器のいろいろ

現在の「オーケストラ」という言葉の語源は、古代ギリシャの円形劇場の舞台と客席の間の平土間の部分で、「オルケストラ」と呼んでいたところをさすものです。オペラで器楽奏者達が演奏する場所が、16世紀頃より舞台の前に位置するようになってから、日本語でいう管弦楽団をそう呼ぶようになりました。

弦楽器 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス&ハーブ

いずれも4本の弦を有し(コントラバスには5弦もある)、主に弓で弦をこすって音を鳴らします。

ヴァイオリンはその中で主なメロディーの演奏を受け持つことが多く、第1ヴァイオリン、第2ヴァイオリンに分かれます。

ヴィオラはアルトの声域を受け持ち、楽器はヴァイオリンよりひとまわり大きくなります。

チェロは正確にはヴィオロン・チェロですが、略してチェロと呼んでいます。音域はヴィオラの1オクターブ下で、その音色はテノールの響きのようです。

オーケストラの土台となる低音部を受け持つのがコントラバスで、もう人間の声では到底出せない音域です。その他の弦楽器としてはハーブがあり、47本の弦を有し7個のペダルの操作によって音程を変えることができます。

木管楽器 フルート(ピッコロ)、オーボエ、クラリネット、ファゴット

フルートは、昔は黒檀などの堅い木をくり抜いて作られたものでしたが、現在では金や銀のものがほとんどです。ピッコロはフルートの約半分の長さで、1オクターブ高い

音域をもっています。

オーボエは縦笛の仲間、植物の葎を薄く削った「リード」を2枚重ねて束ねたものに息を吹き込み振動させて音を出します。

クラリネットは、1枚のリードを「マウスピース」という歌口に固定して、その間に息を吹き込み、その振動を楽器の管に伝えて音を出します。

ファゴットは、イタリア語で「薪の束」という意味で、木管楽器の低音部を受け持ち、オーボエと同じく2枚のリードを振動させて音を出します。

金管楽器 ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ

いずれもマウスピースに唇をつけ、唇を震わせて音を出します。

ホルンはかたつむりの様な形をしており、角笛から発達した楽器で、ベル(音が出る場所)が後を向いているのが特徴です。

トランペットは金管楽器の最高音を受け持ち、華やかで勇ましい音色です。

トロンボーンは、唯一スライドを動かして音程を変える仕組みを持っています。オーケストラでは、アルト、テノール、バスの3種類の楽器が使われます。

テューバは金管楽器で最低音を受け持ち、弦楽器ではコントラバスの音域にあたります。

打楽器 ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル ほか

叩いて音の出るものはすべて打楽器といえます。ティンパニは最も重要な打楽器で、なべの様なかたちをしており、ペダルによって音程を変えることができます。

ほかにオーケストラでしばしば使われる打楽器として、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、タンブリン、カスタネット、鉄琴、木琴など、数多くあります。



以上が通常使用される主な楽器ですが、現代のオーケストラでは、ここでは紹介しきれない様々な楽器がまだまだたくさん使われています。



オーケストラのならば方 ~札幌交響楽団の場合~

ホールや曲によっていろいろなパターンがあります。